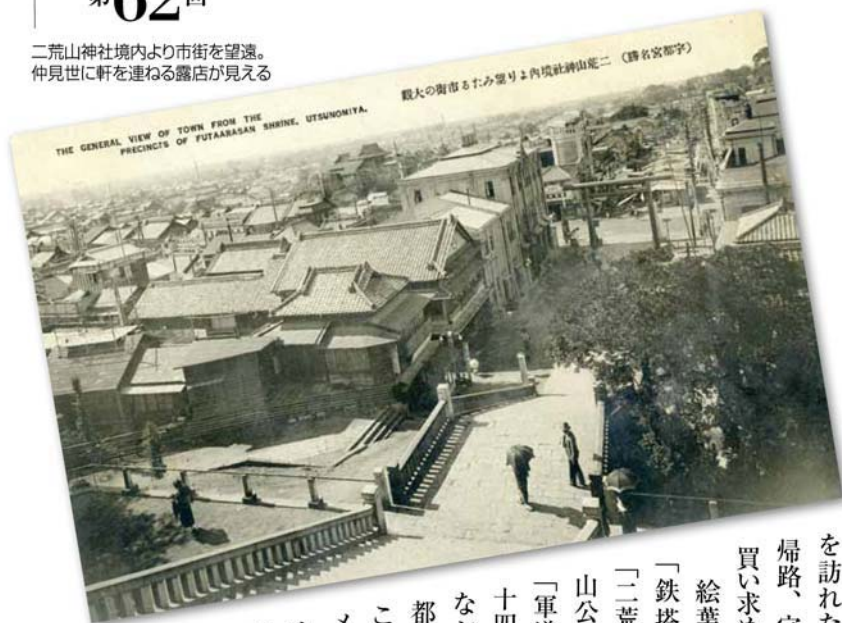


Once upon a time in Utsunomiya

一枚の絵葉書から 石井敏夫コレクションより

第62回

二荒山神社境内より市街を望遠。
仲見世に軒を連ねる露店が見える



宇都宮の景観

「北関東の中枢 宇都宮の景観」と題する十六枚組の絵葉書がある。発行元は馬場町の絵葉書問屋星野屋。発行時期は、写された風景から昭和の初めごろと思われる。絵葉書は厚手の封筒入りで、表側には二荒山神社のスケッチが描かれ、英文で「FINE VIEWS OF UTSUNOMIYA」と記されており、裏側には星野屋印刷部とあった。

十六枚組の絵葉書はコロタイプ印刷で、今にない重厚な質感を醸し出す。道行く人々の表情も豊かだ。すべて和文の写真説明に、英訳を付記。日光を訪れた外国人が、その帰路、宇都宮に立ち寄り買い求めたことだろう。



「宇都宮の景観」封筒

絵葉書は、「宮の橋」「鉄塔婆」「大通り」「二荒山神社」「八幡山公園」「栃木県庁」「軍道の桜並木」「第十四師団」「大谷寺」などからなり、宇都宮の名勝を余すことなく収録。カメラが一般に普及する以前、絵葉書は何にも代え難い旅の思い出であったのに違いない。



八幡山公園より見た蒲生神社。ベンチには女性の姿が



大谷石採掘場の作業風景